

横浜みなとみらいホールのアスベスト対策状況

横浜みなとみらいホールは、平成 17 年度に本市が実施した実態調査において、アスベスト含有吹き付け材が「囲い込み状態にある施設」とされており、原則として毎年度、浮遊量測定を実施するなど、適切に維持管理を行い、施設改修時に合わせて対策を実施することとしています。

横浜みなとみらいホールの浮遊量測定調査結果については、以下のとおり報告します。

<囲い込み状態にある施設> (※)

所在区	施設名	室名	吹付け状況
西区	横浜みなとみらいホール	5 F 大ホール	天井裏

測定時期	アスベスト浮遊量	
	測定結果 (本/L)	定量下限値
平成 31 年 3 月	0.15 未満	0.15

※「囲い込み状態にある施設」とは、使用場所が天井裏で密閉されており、吹き付け材が比較的有害性の低いクリソタイル（含有率はおおむね 5%以下・1か所アモサイト 2%）であるもので、今後原則的に毎年度、浮遊量測定を実施するなど、適切に維持管理を行い、施設改修時に合わせて対策を実施する施設です。